

第3回モノづくり・創業部会 発言ポイント

(平成19年10月5日(金) 市役所10階第2会議室)

○

創業・起業に関するワンストップショップの機能向上をどうさせるのか。機能として必要なものは何なのか。十勝産業振興センターでワンストップショップとしてどう機能させるのか？早いうちに整理しなければならないと思う。

○

今、自分たちで取り組んでいる老舗のビルの空き店舗対策として、1階をパブリックゾーンとし、その中の1つを创业者のためのショップ（レンタルオフィス）として活用するという案がある。

○

创业者の事務所は、十勝産業振興センターの近くにあった方がいいのではないかと思う。

○

中心部でレンタルオフィスをした場合、初期投資のコピー機や接客相談室等を共用とすることの優位性はあるが、それ以外に経営や税金の関係での相談となれば十勝産業振興センターの近くにあったほうがいい。

○

実際、創業したいという人はどれくらいいるのかな？創業したいと思わせる人を増やすことが必要ではないか？「創業することは素晴らしいこと」「創業する人はエライ！」と思わせること。

○

それについては、创业者育成にあたるもの。

○

統計として、昨年の創業起業相談228件に対し、うち90件が創業している。90のうち60がサービス業。

○

創業についてうちに秘めた人、機会があれば創業したい人がどれくらいいるのか？また、どれくらいのことをやれば創業できるのか？を相談できるようにしたい。

○

創業して失敗のときのフォローの相談はないのか？ → ない。

○

創業には、2つあり ①「何か新しいことをやる場合」、②「今までやってきたことで独立する場合」。

何度も創業する人は、リスクを少なく失敗してもその度合いがみえる。

地域として、リスクをしょって一体的に勝負（創業）に出た方が広がりがあるのでは…。

（喜多方ラーメンのように同業種で競合すること。）

○

近年、十勝でチーズ工房が増えたが、伸びる市場への創業戦略が必要なのではないか。

市場が広がりが見込める業種は何なのかを見極める必要がある。

○

チーズの場合、各工房の人が技術研究会をつくり研究を重ね、素晴らしい品質をつくっている。

○

2つの創業を踏まえたうえで、依田勉三は、未知の分野に挑戦したのでそのことが凄い。

行政の補助金等は、創業して、もうひところがしできるところにあると、うれしい。

○

依田勉三の場合、行政の制度が整わないうちに挑戦してきたことが故にリスクを大きくした。行政レベルに合わせた形でやればいい。

○

創業を考えた場合、有機農業を広めたい一心で始めた。アメリカへ行ったとき、行政が加工工場をつくり、1年くらい実習させ卒業させるというもの。

行政は、ハード整備だけでなく、加工技術等のノウハウや資金の支援も必要。

- モノづくり・創業における成功事例はないのか？それがあれば具体的に想定できる。

- 相談会とか形式ばったものではなく、ふらっと集まって創業の話ができる場所が必要。私の友人の話为例に、彼は、アメリカの何をやる訳でもなくシリコンバレーに行った。それは、そこに行って飲み屋とかに行けば企業の人たちに会うことができ、創業等の話ができるので、そこにいなければ意味がないというもの。

- 札幌の大通りには、独)産業総合研究所が主になり、そういう沙龙的な場所や貸事務所等がある。

- 創業したい人の顔が見えない。どういう人が創業したいのか。自分の経験上、勤めていて技術を身につけ、ある理度のところで「独立した方がいいかな？」と思い独立する。しかし、今の若い人たちは、技術習得まえに弾かれたり、辞めたりして創業している。→ ハローワークか創業か？

- 加工技術のノウハウの話では、十勝産業振興センターも食品加工技術センターも使用機械は無料で技術を教えることができるし、自分が作りたいと思うものについても支援できる。

- 創業のための「ふらっと集まれる場所」でいえば、地域のデザインやアートに関して情報交換のできる場所はあるが...

- 創業するにしてもそれぞれの業種等でステップがあり、創業する人がどのようなことをやりたいのか？それに対して、どう応援するのが必要。(建設業をやっている人なら、新分野の創業より、独立創業になる。)

- 農業高校では、自分で作った物を販売している。それは、生徒たちにとってうれしいことで刺激になるし、それが勉強になる。

○

生徒たちも本気でないから楽しいのでは？そのことからいえば、「ちょっと（プチ）創業」から「本気で創業へ」という考えはどうか？本気じゃないから気軽にでき、失敗してもリスクが少なく、痛い目には合わない。これは、資料5の苗床のようなものではないか？「本気で創業」になれば行政の支援制度がある。

○

創業のワンストップショップの機能ということで、十勝産業振興センターについて知ってもらいたい。また、とかち財団では、「ヒューマンネット十勝」という参加自由の異業種交流会を実施している。

一度、実際に施設を見た方がいい。

○

ヒューマンネット十勝では、高校生や大学生が参加できると企業の人と交流でき、互いに刺激になるのではないか？

創業のための十勝産業振興センター機能についての整理が必要。施設をまだ見ていない委員もいるので、次回は、十勝産業振興センターで開催したい。（了承）

以上